東京梅檀会　役員・学年幹事合同会議　議事事録（H２３年２月２７日作成）

開催日時：平成 23 年 2 月 26 日（土）１３：００～１６：３０

場所：品川区荏原第五地域センター

出席者：渡邉豊三（高４）、松倉収（高７）、木幡精一（高８）、佐藤三千雄・石橋勲（高９回）、
松本仁（高１０）、鈴木秀夫・中村民江・木幡實・佐藤宏秀・松本孝之（高１２回）、
井上博明・佐藤直之（高１３）、大元泰宏（高１４回）、中澤嘉樹・宇佐見行夫（高１８回）
谷津田保雄・辻ノリ子・葛西安子・久保田則男（高１９回）、横田政光・赤石沢良光（高２０回）、
鈴木孝光（高２１）、藁谷至（高４４）

☆新役員：副幹事長・鈴木孝光（高２１）

☆出席の新学年幹事：石橋勲（高９）、中村民江（高１２）、宇佐見行夫（高１８）、
横田政光・赤石沢良光（高２０）

書記：大井（高１８回）　　計２５名

開会の辞：佐藤三千雄副会長

新年総会ご苦労様でした。大変盛り上がり楽しい懇親会であったと評判でした。今年度もご協力をお願いします。

会長挨拶：鈴木秀夫会長

新年総会お疲れ様でした。懇親会における本部会長の挨拶に、本同窓会とは関係のない会の話がありましたので、双高同窓会以外のいかなる団体の支配・統制・干渉も受けない、本会の主旨に反する旨を伝えておいた。新しくご参加いただいた方には、なんのことかと思われるかもしれませんが、同窓会として大切な理念ですのでお話し申し上げます。

出席者自己紹介：参加者一人一人、卒業回数と高校時代の若干の思い出を語る。

議題：１、新年総会を振り返って　２、東京梅檀会懇親会実施について　３、ふるさと納税について
４、志賀泉さんのサイン会について

１、新年総会を振り返って

・総会・懇親会の流れはどうか。周年行事の企画はどうであったか。周年行事の連絡は１１月下旬でよいか。葉書の発信者名は学年幹事を中心とする等、役割分担が会運営の要になる。よって、幹事学年制の定着を目指して会運営を進める。
・同窓会の輪を広げるため、引き続き学年幹事５人体制を推進する。
・同窓会新聞で同期会の盛会の記事を掲載している学年が、新年総会参加者ゼロというのはいかなる事か。
・年配者の意見に暖かい月の開催を望む声があるので、５月開催の日程計画で進める。特に今年はインフルエンザ流行のため当日欠席者が多かった。
・平成２４年１月２１日（土）の「新年総会」は予約の関係で動かせないが、それ以後は「総会・懇親会」として５月開催の日程を組む。
・総会と懇親会を別けて開催することも検討してはどうか。
・最多参加学年賞の景品を金一封から何か思い出に残る適当な故郷の景品はないか。
・静岡・山梨在住の会員の輪を広げるため、東京梅檀会静岡支部・山梨支部として各支部にまとめ役をお願いする。
・２３年度合同会議年間予定を決めたが、日程は臨機応変に対応する。
・新卒会員をどのように勧誘するか：同窓会入会式が２８日にあるので「東京梅檀会入会の案内」を本部に１００部送付。３月１日の卒業式にも会長名で祝電を送る。若い世代には HP の活用が必須である。

２、東京梅檀会懇親会実施について

・いろいろと課題も多いが、５月開催を目指し計画をする。今後の「総会・懇親会」５月開催の布石にもなるので実施の方向で進める。
・開催場所、費用等事務局で計画を練る。

３、ふるさと納税について

・同窓会としては、税理士・会計士に紹介記事を書いていただきホームページのお知らせ記事くらいが限界ではないか。ふるさと納税の紹介記事を載せて頂く方向で進める。

４、志賀泉さんのサイン会について

・「志賀泉さんの写真エッセー」を楽しみに読んでいる。懇親会の時にサイン会を開いてはどうか。本人と打ち合わせ前向きに検討する。

◎会議終了後、いつもの会費制懇親会となりました。会場は懐かしい畳敷きの会場で、谷津田保雄副幹長の司会の下、最年長出席者の渡邉豊三さんの乾杯の発声で始まりました。１６時３０分終了。

☆お知らせ：硬式野球部が４／３～４／５に関東遠征練習試合（詳しくは HP をご覧下さい）、女子柔道部が日本武道館で３月２０日開幕の全国大会に出場します。会員の皆様、応援よろしくお願い致します。